

公共用水域水質測定結果の概要

1 令和5年度環境基準等達成状況

(1) 健康項目

人の健康の保護に関する環境基準が設定されている項目（カドミウム、全シアン等の27項目）については、「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素」が忍川及び高田川で環境基準を超過したが、その他の項目については、いずれの地点においても環境基準を達成した。（表1、図1）

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の環境基準が未達成であった忍川及び高田川は、源流部及び湧水の硝酸性窒素濃度が高いことが判明しており、畜産及び畑作による影響が考えられる。

そのため、「千葉県硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素に係る地下水保全対策実施方針」に基づき、畜産農家への家畜排せつ物の適正管理に係る指導や畑作農家の適正施肥の推進などについて、今後も市町村及び関係機関と連携して進めていく。

表1 健康項目の環境基準超過状況（単位：mg/L）

物質名	河川名	地点名（市町村名）	年平均値	環境基準値
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	忍川	富川地先（銚子市）	16	10以下
	高田川	白石取水場（銚子市）	13	

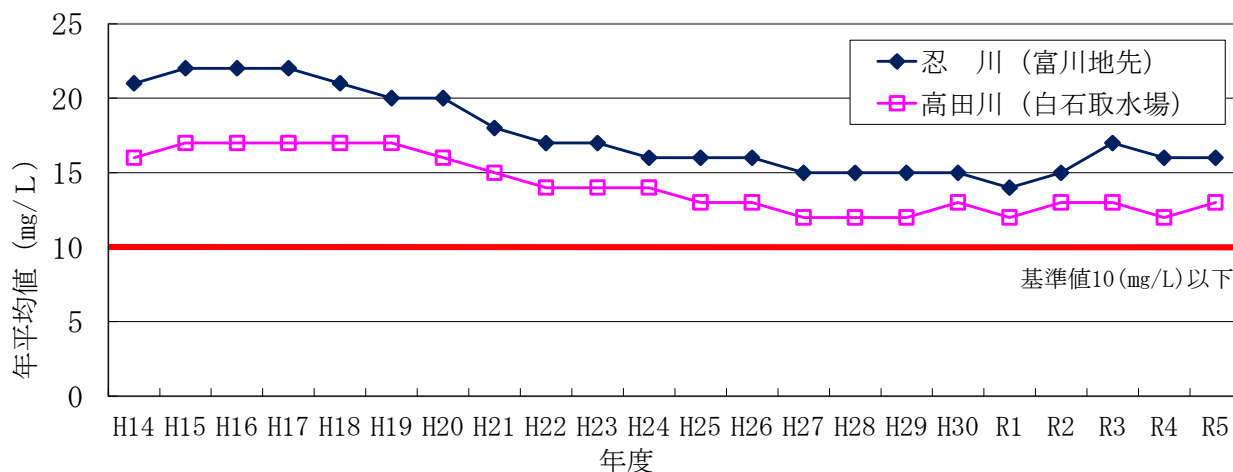


図1 忍川及び高田川の硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の経年変化

(2) 生活環境項目

ア BOD（河川）・COD（湖沼及び海域）

BOD・CODについては、有機物などによる水質汚濁の指標であり、環境基準が設定されている85水域のうち58水域で達成し、達成率は68.2%で、前年度より2.4ポイント低下した。

河川、湖沼、海域の環境基準達成率は、河川で75.7%（前年度77.1%）、湖沼で0%（同0%）、海域で45.5%（同54.5%）となった。（表2、図2）

表2 BOD・CODの類型別環境基準達成状況

区分	類型	環境基準値 (mg/L)	類型指定 水域数	達成 水域数	達成率 (%)
河川 (BOD)	A	2以下	24(24)	16(15)	66.7(62.5)
	B	3以下	22(22)	16(18)	72.7(81.8)
	C	5以下	14(14)	11(11)	78.6(78.6)
	D	8以下	2(2)	2(2)	100 (100)
	E	10以下	8(8)	8(8)	100 (100)
	河川計	—	70(70)	53(54)	75.7(77.1)
湖沼 (COD)	A	3以下	3(3)	0(0)	0 (0)
	B	5以下	1(1)	0(0)	0 (0)
	湖沼計	—	4(4)	0(0)	0 (0)
海域 (COD)	A	2以下	2(2)	0(1)	0 (50.0)
	B	3以下	4(4)	0(0)	0 (0)
	C	8以下	5(5)	5(5)	100 (100)
	海域計	—	11(11)	5(6)	45.5(54.5)
合計		—	85(85)	58(60)	68.2(70.6)

(注) () 内は前年度の数值

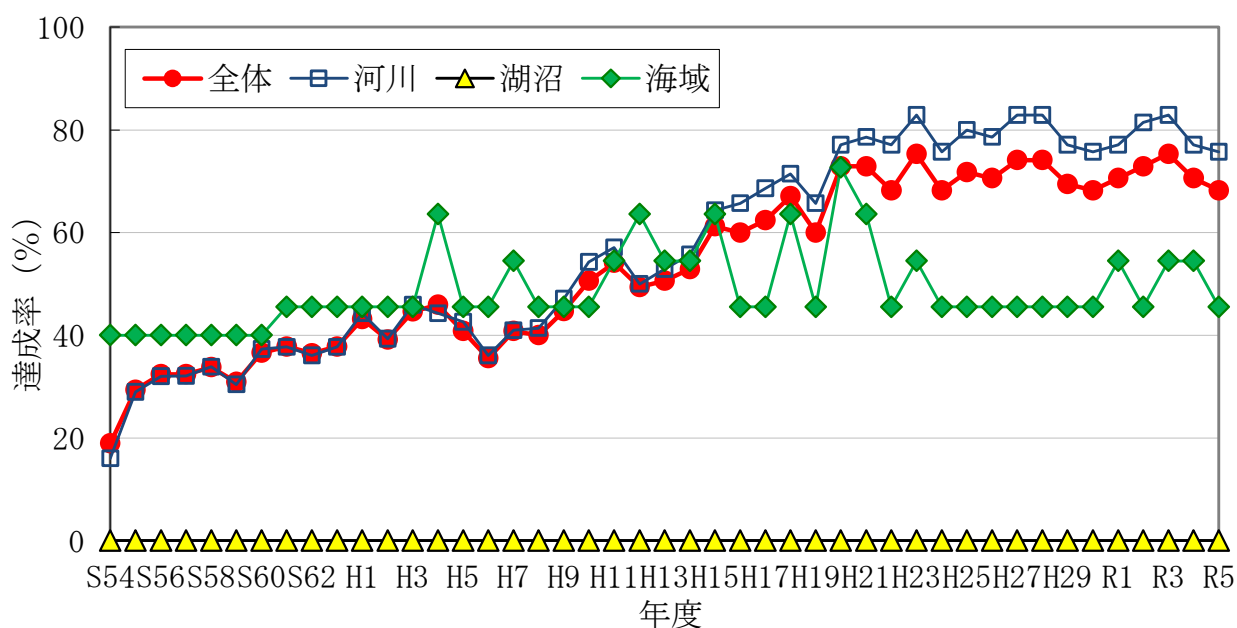


図2 環境基準達成率の推移 (BOD・COD)

イ 全窒素・全りん

全窒素・全りんの環境基準は、富栄養化が水質汚濁の原因となる閉鎖性水域の湖沼2水域・海域5水域に適用される。

環境基準達成状況は、湖沼2水域ではともに未達成だったが、海域5水域では、**全窒素**がすべての水域で、**全りん**が4水域で環境基準を達成した。

ウ 全亜鉛・ノニルフェノール・LAS（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）
 全亜鉛等3項目は、水生生物の保全を目的とした環境基準項目であり、
 66水域（河川56水域・湖沼4水域・海域6水域）に適用される。
 環境基準達成状況は、全亜鉛については河川2水域で未達成だったが、
 ノニルフェノール及びLASについては、すべての水域で環境基準を達成し
 た。

エ 大腸菌数

令和4年度から評価対象となった大腸菌数は、糞便汚染を示す指標である。
 環境基準が設定されている55地点（河川48地点、湖沼3地点、海域
 4地点）のうち26地点で達成し、達成率は47.3%で、前年度より1.
 8ポイント低下した。
 環境基準達成状況を水域の区分ごとにみると、河川で39.6%（前年度
 41.7%）、湖沼で100%（同100%）、海域で100%（同100%）
 となった。

2 水質の現況

（1）河川

ア 江戸川

上流、中流、下流（1）、下流（2）の4水域9地点で調査を実施して
 おり、BODの年平均値は、1.1～2.4mg/Lであった。

主要地点においては、年度による変動があるものの、ここ数年若干高く
 なる傾向にありますが、長期的に見れば概ね横ばいの状況にある。（図3－
 1）

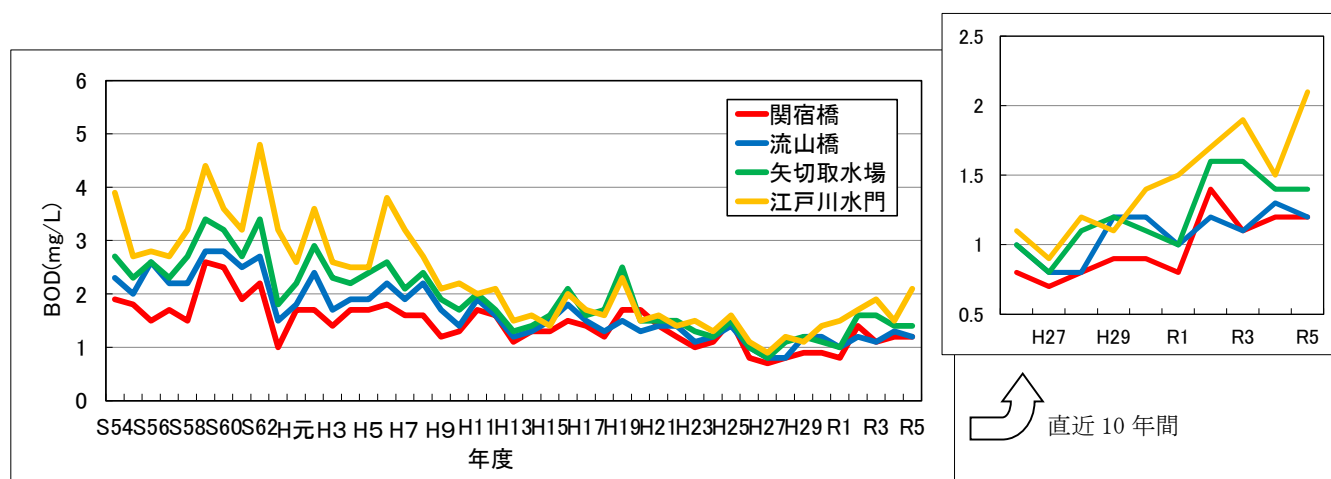


図3－1 江戸川の主要地点の水質経年変化（BOD年平均値）

イ 利根川

江戸川分岐点から下流の 8 地点で調査を実施しており、BOD の年平均値は、1.3～2.3mg/L であった。

主要地点においては、年度による変動はあるものの、ここ数年概ね横ばいの傾向にある。(図 3-2)

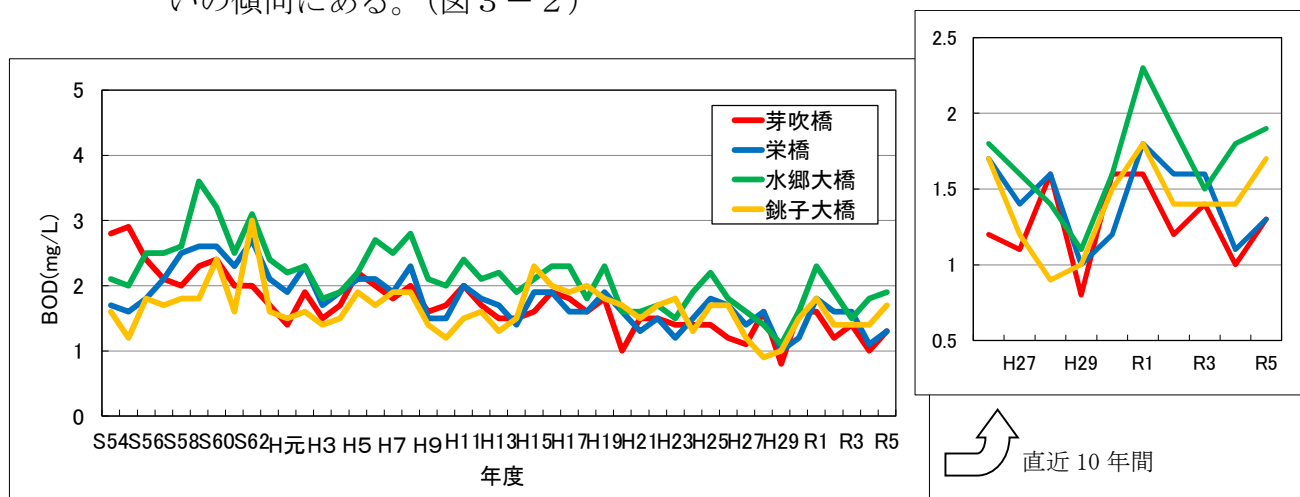


図 3-2 利根川の主要地点の水質経年変化 (BOD 年平均値)

ウ 県内主要河川

県内主要 4 河川 (養老川、小櫃川、栗山川、黒部川) の BOD 年平均値は、1.7mg/L～3.2mg/L であり、年度による変動はあるものの、概ね横ばいの状況にある。(図 3-3)

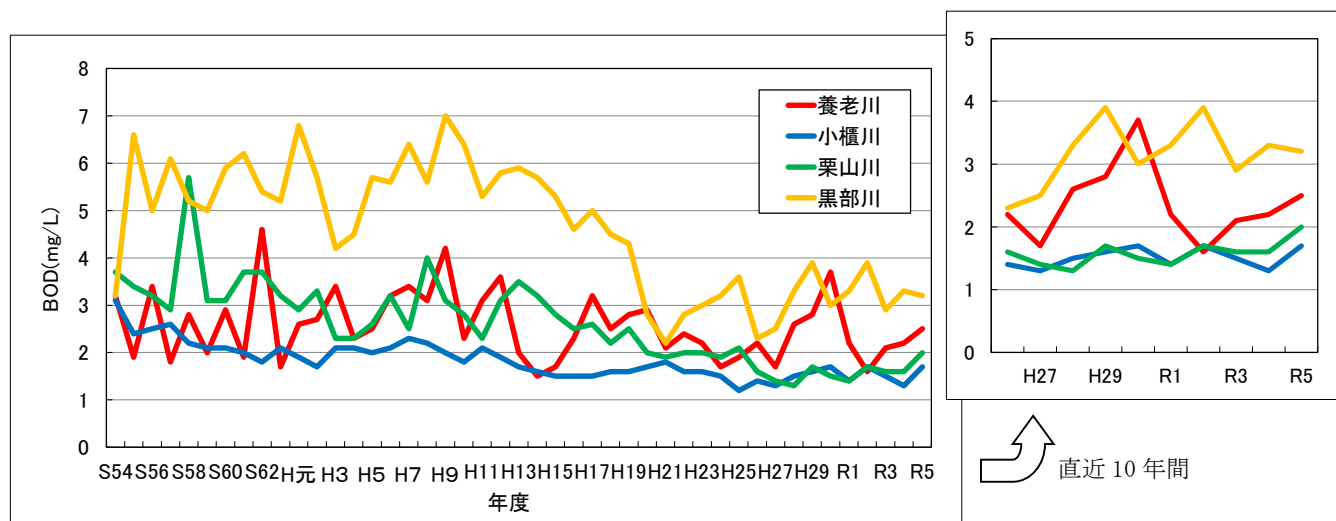


図 3-3 県内主要河川の水質経年変化 (BOD 年平均値)

エ 主要都市河川

流域の人口密度が高い県北西部の河川のBOD年平均値は、平成15年頃までに大幅に改善され、近年も改善または横ばいの状況にある。(図3-4)

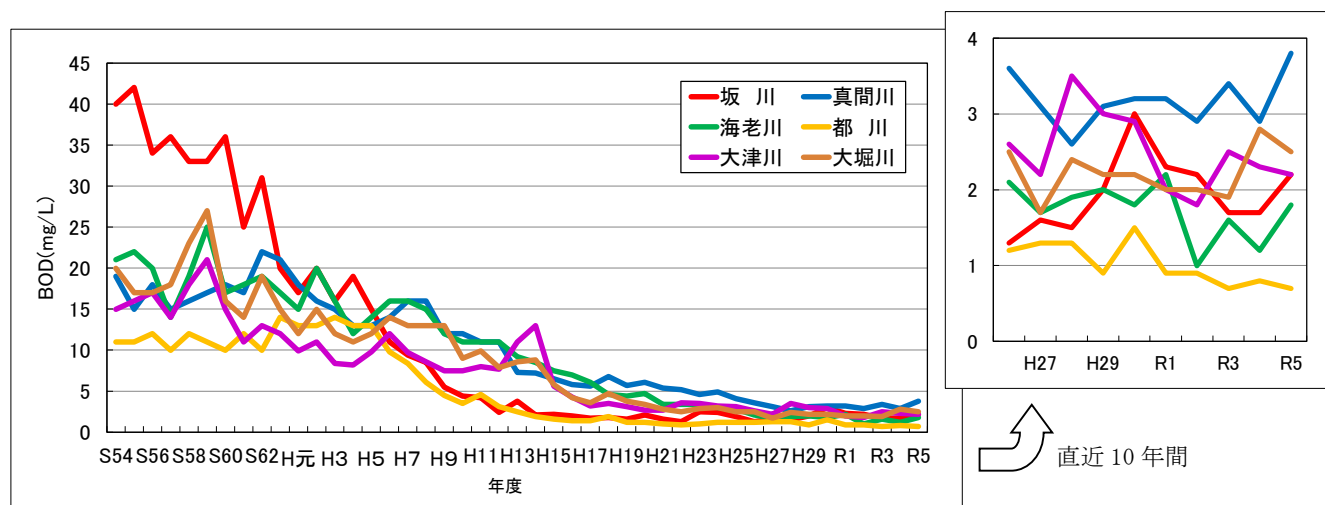


図3-4 県内主要都市河川の水質経年変化（BOD年平均値）

(2) 湖沼

印旛沼、手賀沼、高滝ダム及び亀山ダムの4水域、15地点で調査を実施している。COD年平均値は、すべての湖沼において概ね横ばいの状況にある。(図3-5)

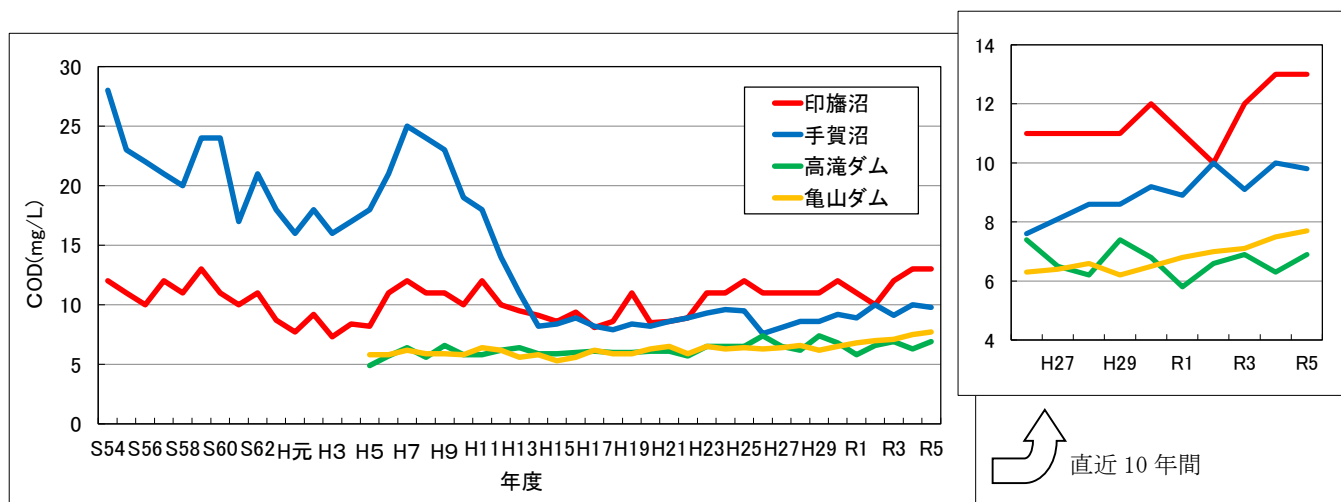
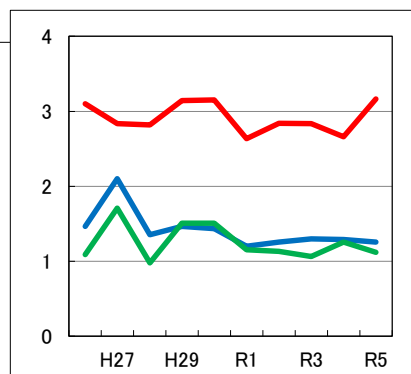
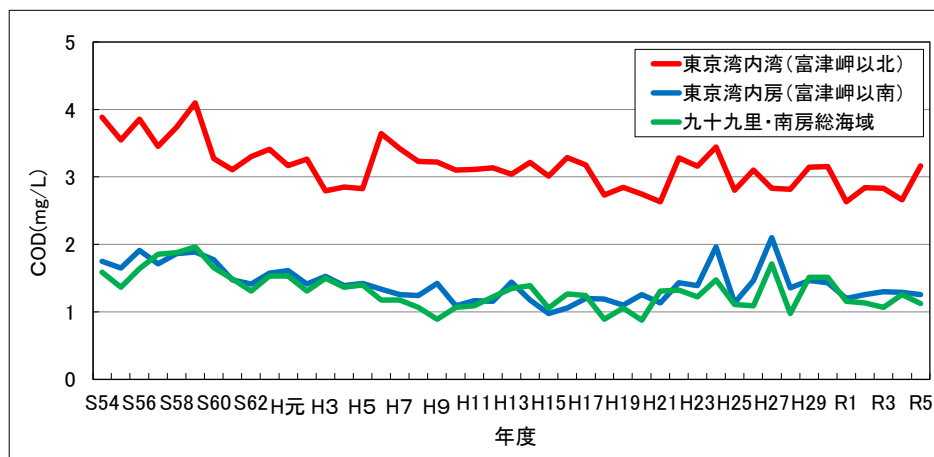


図3-5 県内湖沼の水質経年変化（COD年平均値）

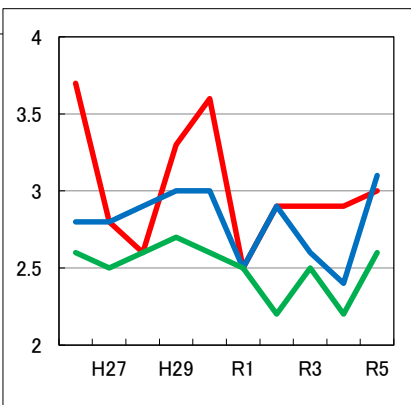
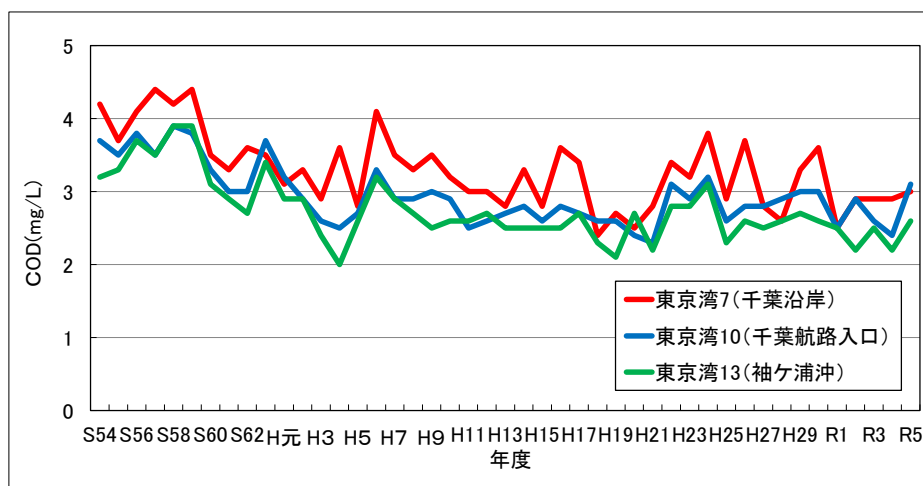
(3) 海域

東京湾内湾、東京湾内房、南房総水域及び九十九里水域の計42地点で調査を実施している。COD年平均値は、年度による変動はあるものの、ここ数年概ね横ばいの状況にある。(図3-6、3-7、3-8)



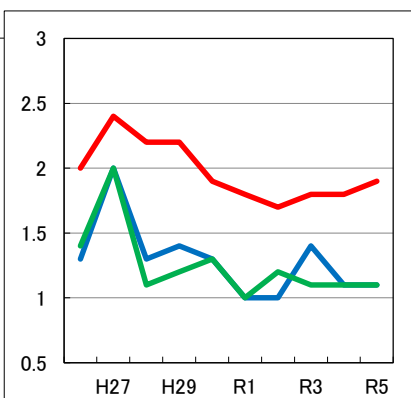
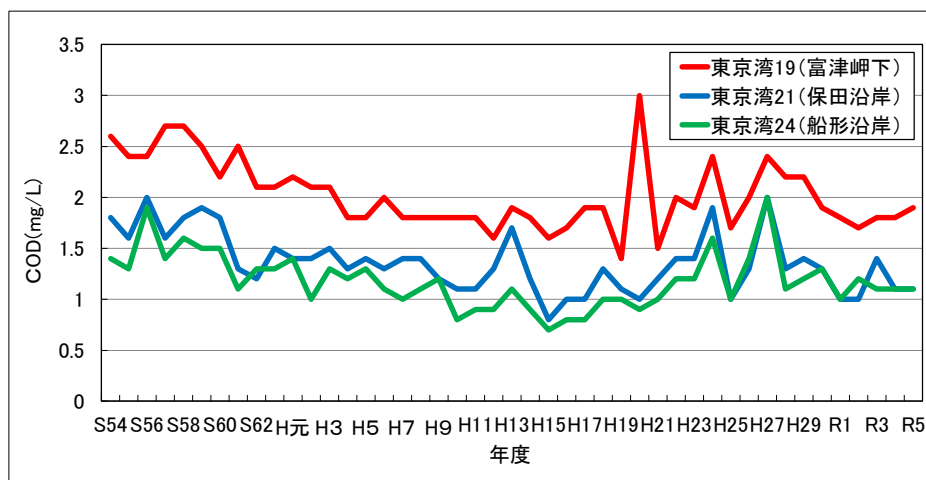
直近 10 年間

図 3 - 6 海域別のCOD年平均値経年変化



直近 10 年間

図 3 - 7 東京湾内湾の水質経年変化 (COD年平均値)



直近 10 年間

図 3 - 8 東京湾内湾の水質経年変化 (COD年平均値)